
新型コロナウイルス感染症と 韓国経済

忠北大学 国際経営学科 金成美(キム・ソンミ)

kimseongmi.cbnu@gmail.com

新型コロナウイルス感染症流行以降 韓国経済の現状と展望

1. 経済成長
2. 雇用
3. 物価
4. まとめ

経済展望の前提

	2019	2020			2021
		上半期	下半期	年間	
世界経済成長率(%)	2.9	-4.3	-4.0	-4.1	4.7
米国	2.2	-4.6	-7.9	-6.3	3.2
ヨーロッパ	1.3	-9.0	-9.3	-9.1	3.5
日本	0.7	-5.8	-6.2	-6.0	2.1
中国	6.1	-1.6	5.0	1.9	8.2
世界貿易伸び率(%)	0.9	-14.3	-10.8	-12.5	6.6
原油導入単価 (ドル/バレル)	65	42	45	43	49

注：1) 前年同期対比基準

2) 期間平均、CIF基準、原油導入比重(2019年基準)：中東産70%、その他30%

出所：Bank of Korea

新型コロナウイルス感染症の展開シナリオ

□ 世界

新型コロナウイルス感染症の拡散は国別に相違に展開されるが、
2021年半ば以降には徐々に収まる

- ー 経済活動に関する移動制限は徐々に緩和され、
世界経済が2021年下半期にはコロナ以前の水準を回復

□ 韓国

夏以降の新型コロナウイルス感染症再拡散は年初のように継続され、
その後局地的拡散が持続すると前提

1. 経済成長：①民間消費

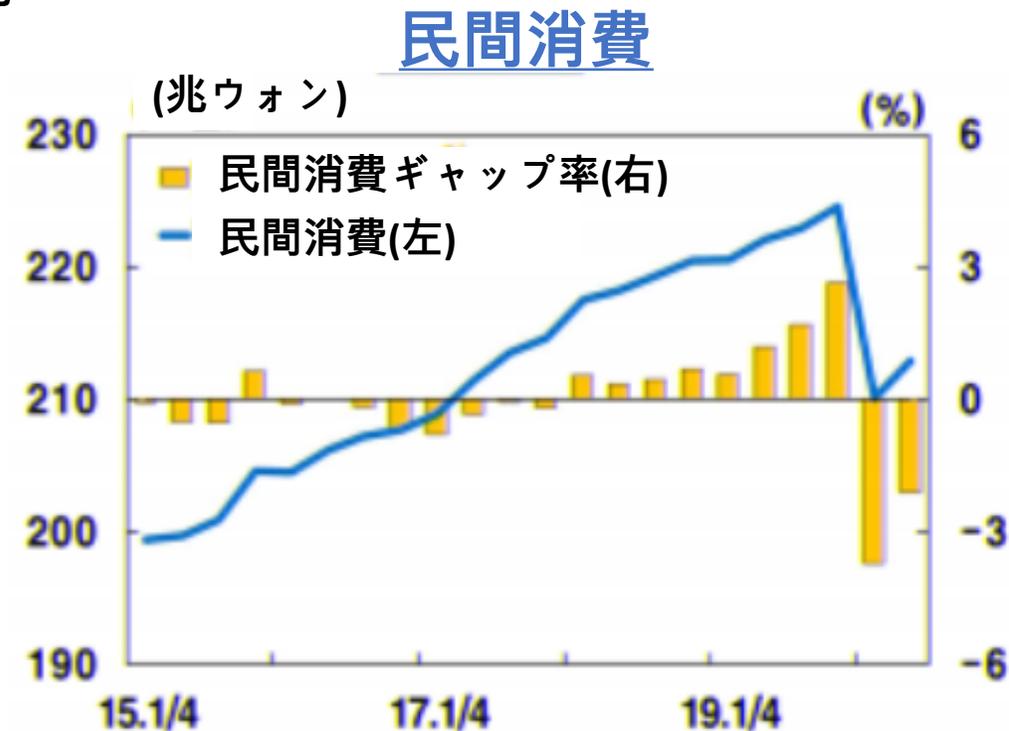
□消費低下は緩和されたが、改善は鈍化傾向

- 第二四半期

新型コロナの拡散が収まり、
政府の支援策により民間消費低下は緩和

- 第三四半期

集中降雨、災害支援金終了など
により改善鈍化

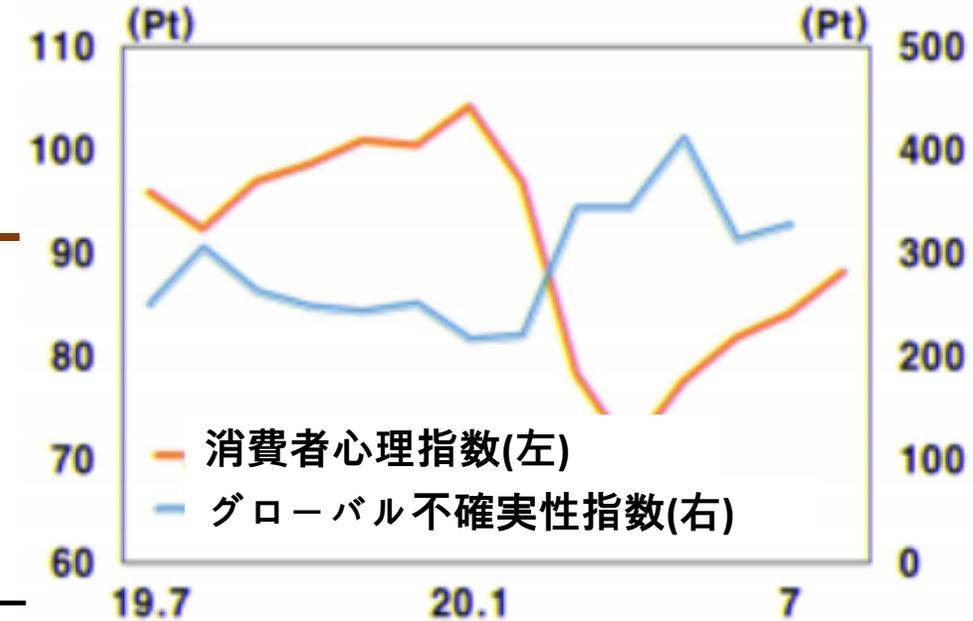


注：1)GDP実質金額(季節調整)基準
2)HPフィルターで抽出した長期推移対比
出所：韓国銀行

1. 経済成長：①民間消費

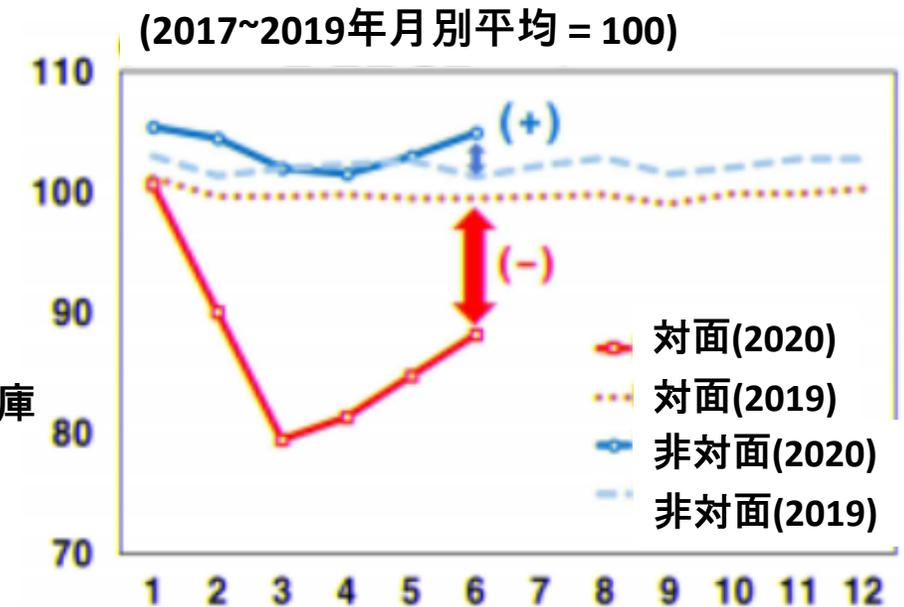
□IT部門改善は継続

- 雇用及び自営業の状況悪化により家計所得、消費心理の改善が遅れ
- 韓国内新型コロナ再拡散、海外旅行指数低下などにより民間消費は再び悪化



対面サービス業生産指数 →

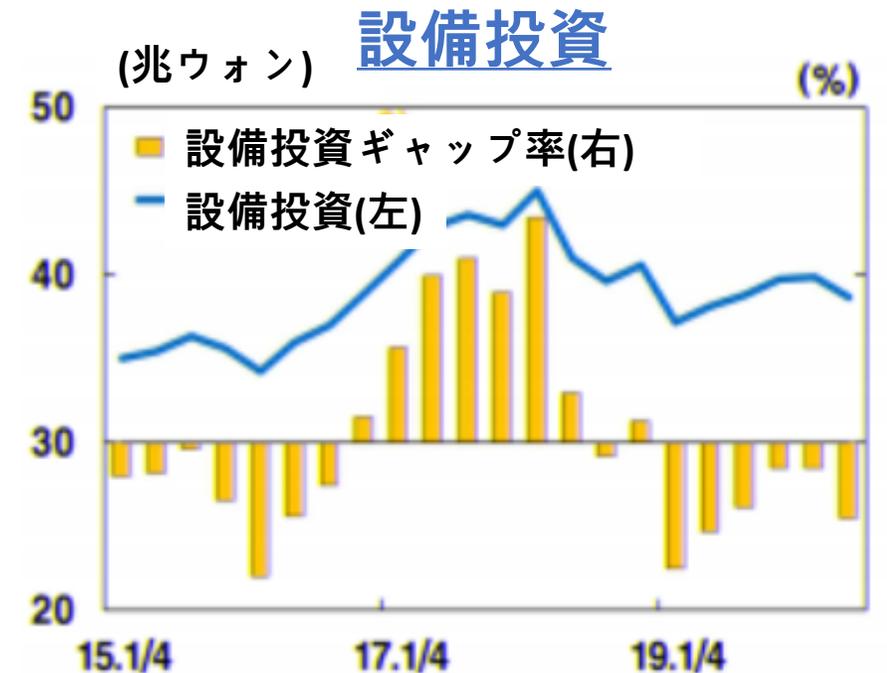
注：1)宿泊・飲食・芸術・スポーツ・趣味・教育・運輸・倉庫
2)サービス業生産指数基準
出所：韓国統計庁



1. 経済成長：②設備投資

□IT部門改善は継続

- 半導体は技術格差維持及び新成長部門育成のための戦略的投資継続
- ディ스플레이(OLED)は営業利益減少、需要低下により投資鈍化



注：1)GDP実質金額(季節調整)基準
2)HPフィルターで抽出した長期推移対比

出所：韓国銀行

1. 経済成長：②設備投資

□ 非IT部門は今年は鈍化傾向、来年回復

- 今年状況悪化により鈍化、来年は投資再会
- 石油化学、鉄鋼は自動車、建設などの売上低下により、新規投資低下

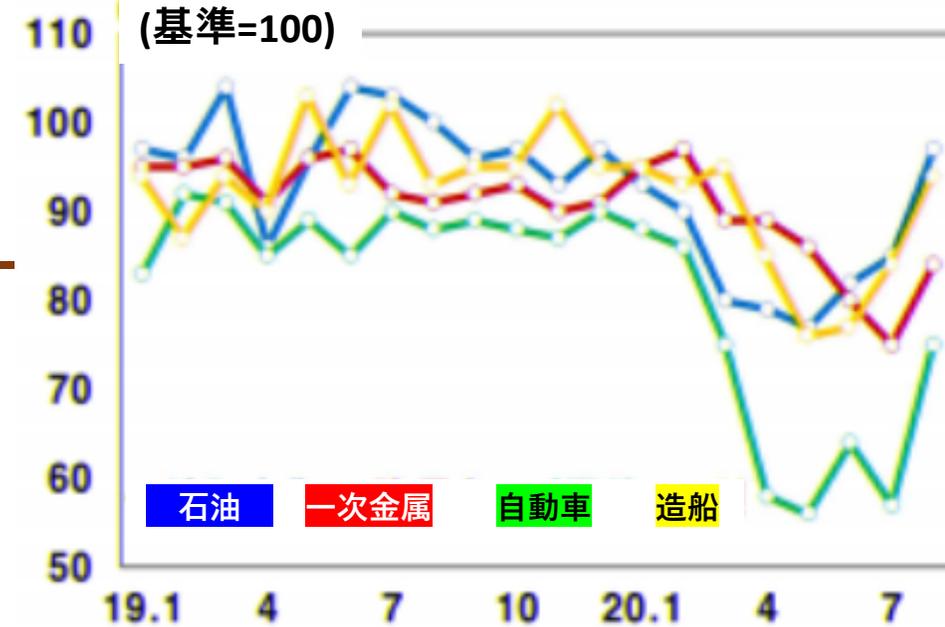
IT・非IT部門の設備投資 →

注：1)2020年以降は展望

2)ITは半導体・ディスプレイ製造用装備基準

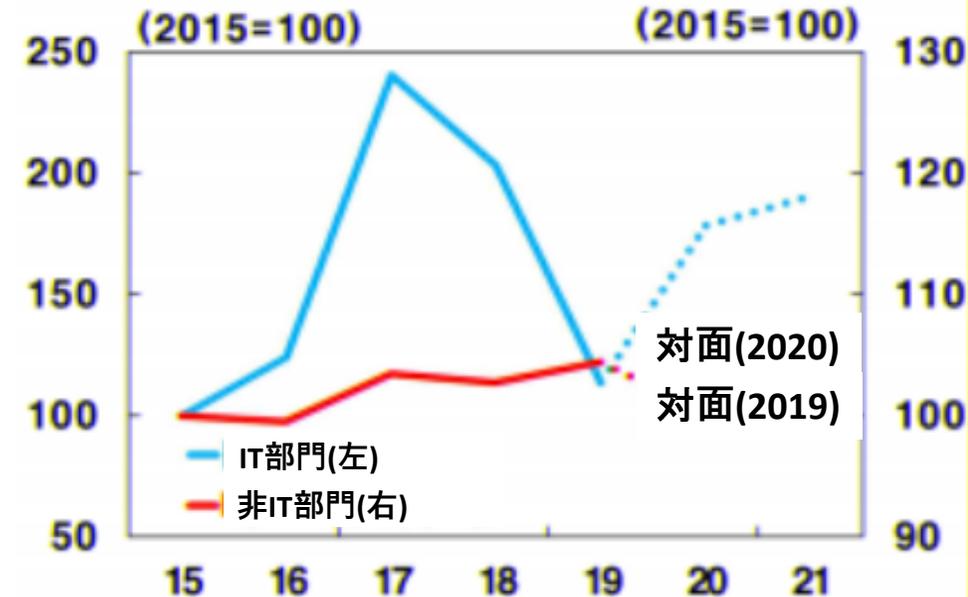
出所：韓国銀行

主要業種別BSI設備投資



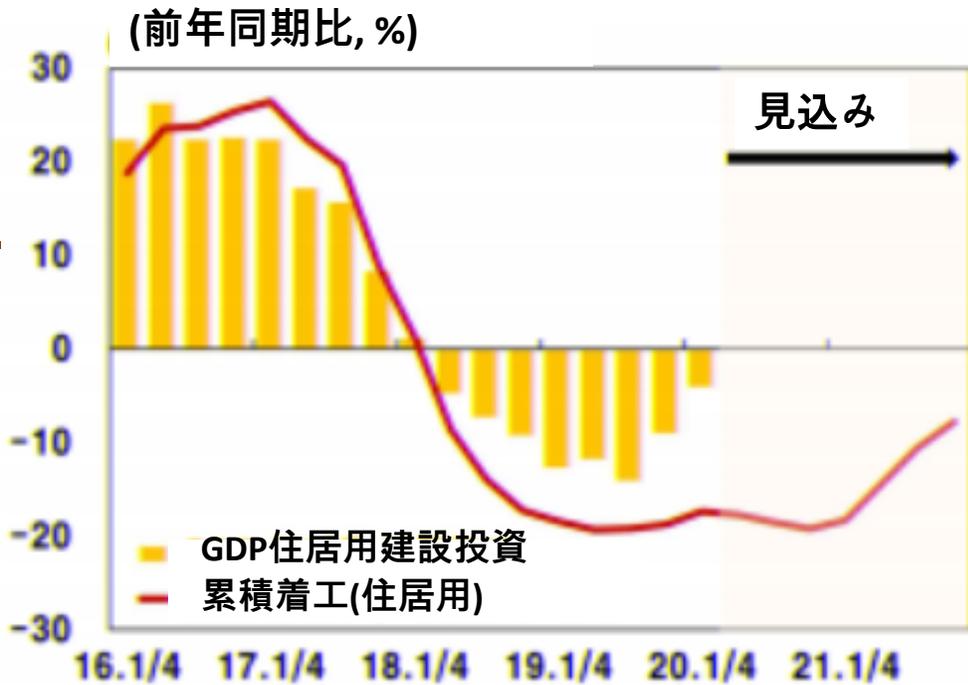
注：実績基準

出所：韓国銀行

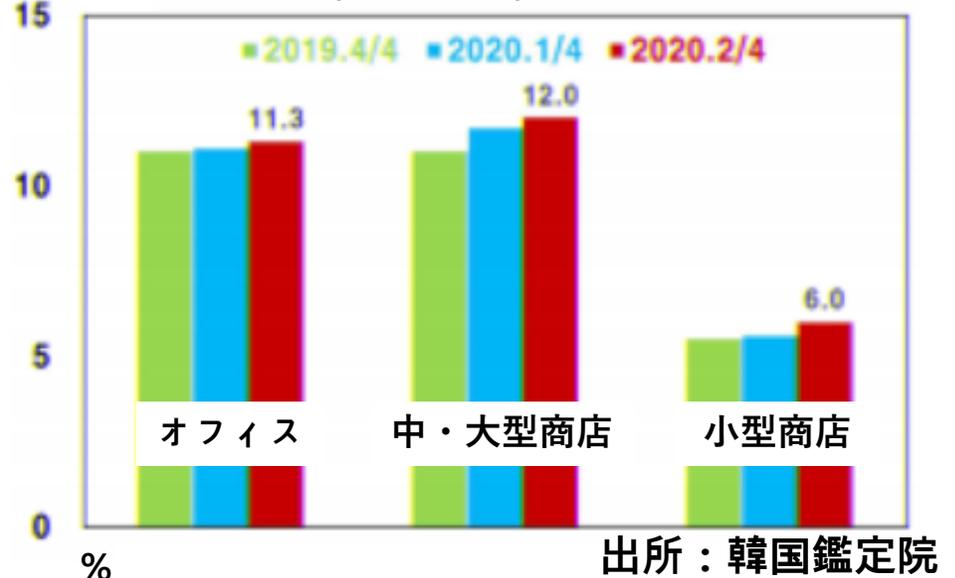


1. 経済成長：③建設投資

- 住居用・非住居用建設投資鈍化
- 住居用建物は2016年以降新規着工鈍化



注：GDP実質(季節調整)基準 出所：韓国銀行

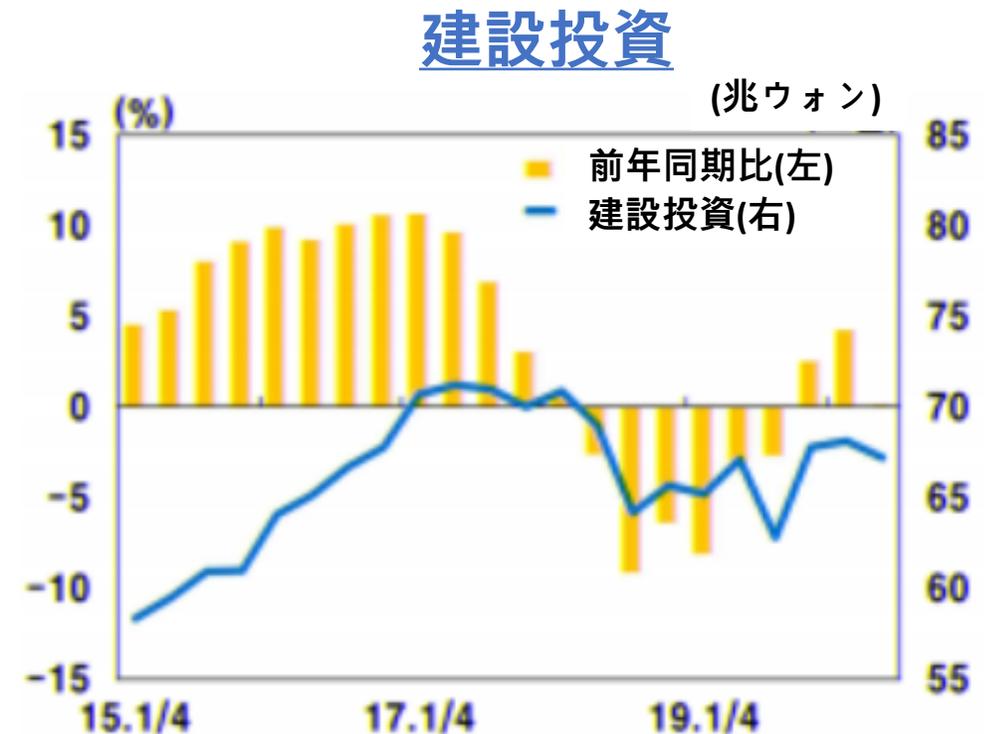


商業用不動産空室率 →

1. 経済成長：③建設投資

□ 来年上半期まで減少継続

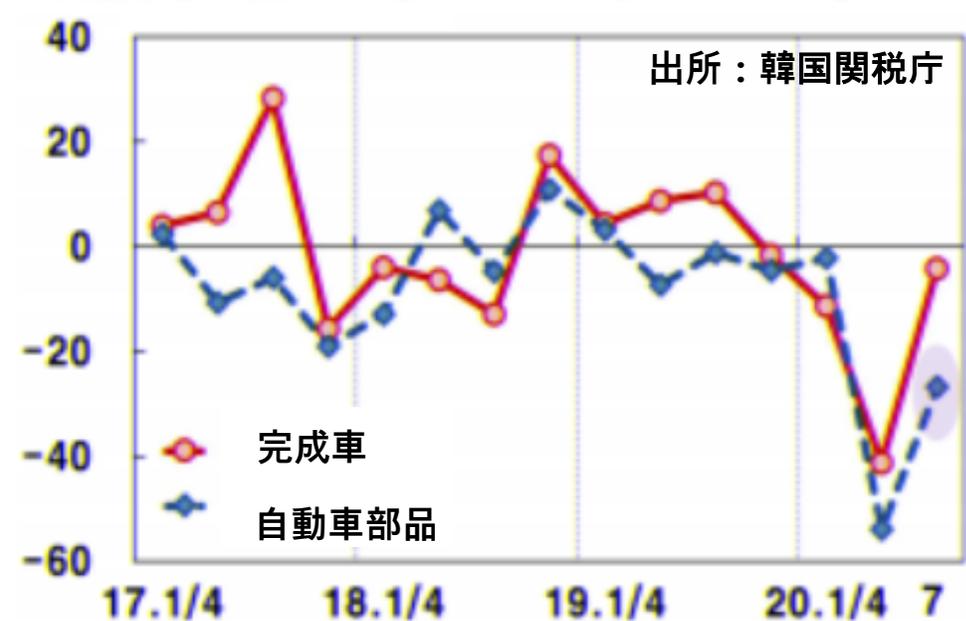
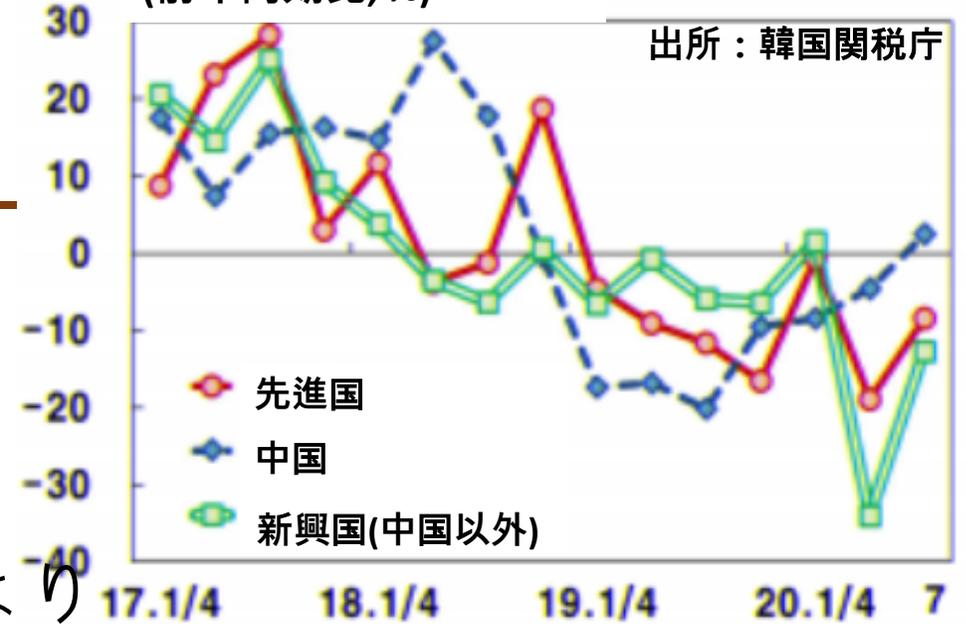
- 建物建設鈍化継続
- 来年には住居用建設鈍化が緩和され、減少幅が縮小すると予想



注：GDP実質(季節調整)基準 出所：韓国銀行

地域別通関輸出増加率

(前年同期比, %)



1. 経済成長：④商品輸出

□減少幅は縮小されたが、一部は減少継続

- 通関輸出金額は第二四半期中大きく減少
しかし、最近減少幅縮小

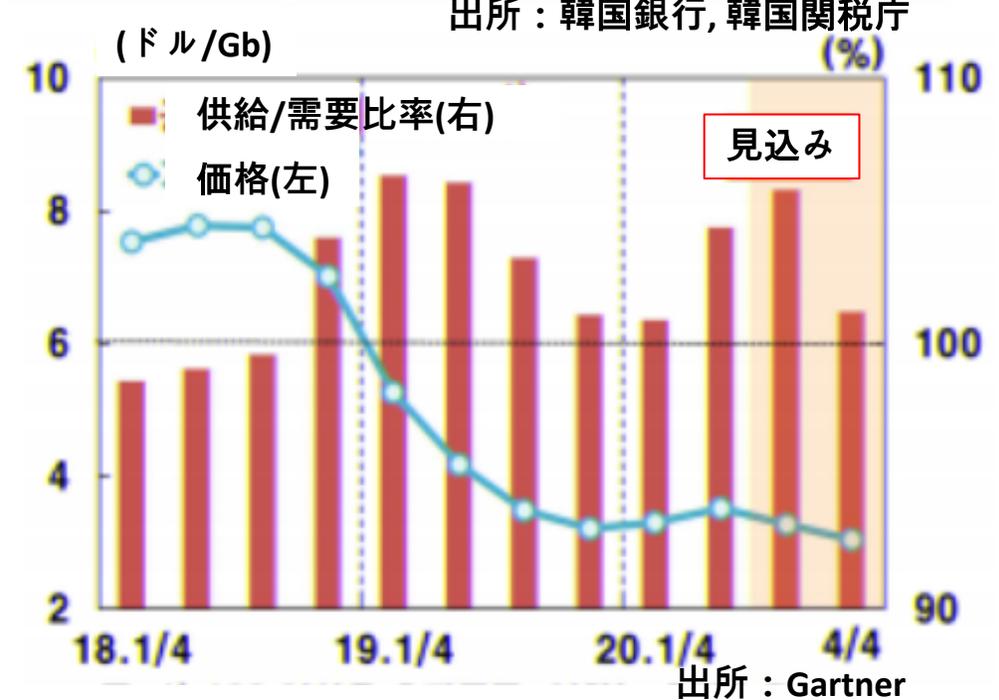
- 上半期中グローバル景気（需要）鈍化により
自動車など一部生産施設の稼働率低下

[自動車輸出金額](#) →

通関輸出増加率

1. 経済成長：④商品輸出

- グローバル景気改善により減少幅緩和
- 主要国の経済活動が再開されているが、新型コロナ再拡散が改善を阻止
- グローバル半導体景気は回復速度が遅くなると予測



[DRAM半導体受給及び価格](#) →

1. 経済成長：④成長率

□ 2020年 -3% → 2021年 +2.8%

- 国内景気は徐々に改善されるが、速度は遅いと予想
- 輸出低下傾向は緩和されるが、新型コロナ再拡散により民間消費回復阻止

GDP成長率展望

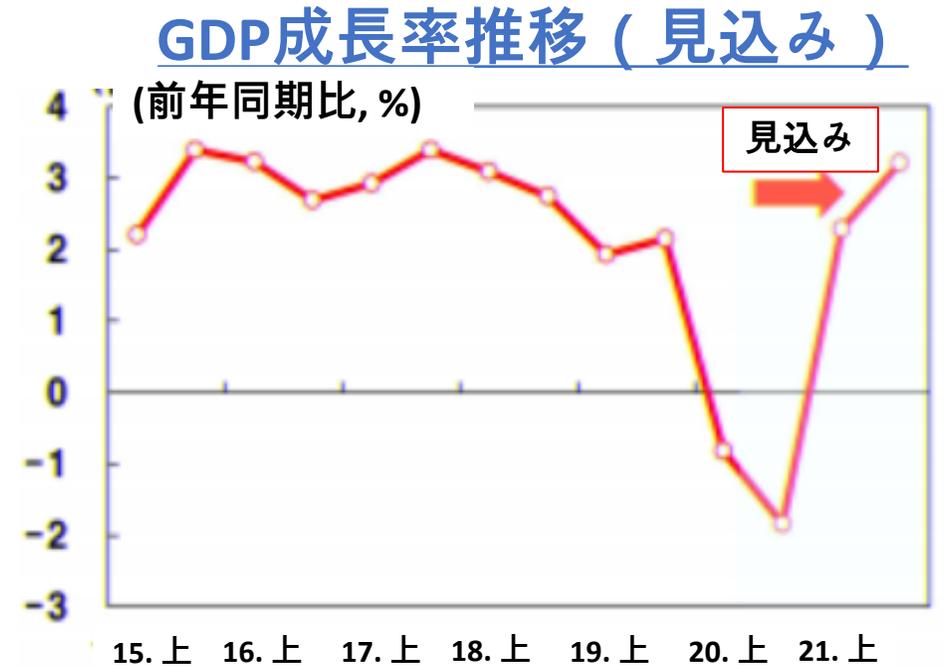
出所：韓国銀行

前年同期比(%)	2019	2020		2021 ^(e)			
	年間	上半期	下半期	年間	上半期	下半期	年間
GDP	2.0	-0.8	-1.8	-1.3	2.3	3.2	2.8
民間消費	1.7	-4.4	-3.4	-3.9	4.0	3.6	3.8
設備投資	-7.5	4.2	0.9	2.6	4.5	7.8	6.2
知識財産生産物投資	3.0	2.8	3.0	2.9	3.0	4.0	3.5
建設投資	-2.5	1.9	-3.1	-0.7	-2.6	1.7	-0.4
商品輸出	0.5	-3.2	-5.6	-4.5	5.4	4.2	4.8
商品輸入	-0.8	-1.1	-2.5	-1.8	6.3	5.6	5.9

1. 経済成長：④成長率

□成長経路の不確実性が高い状況

- [楽観]新型コロナワクチン早期開発、中国の成長拡大、政府対策の効果
- [悲観]新型コロナの再拡散、半導体景気悪化継続
米中葛藤悪化



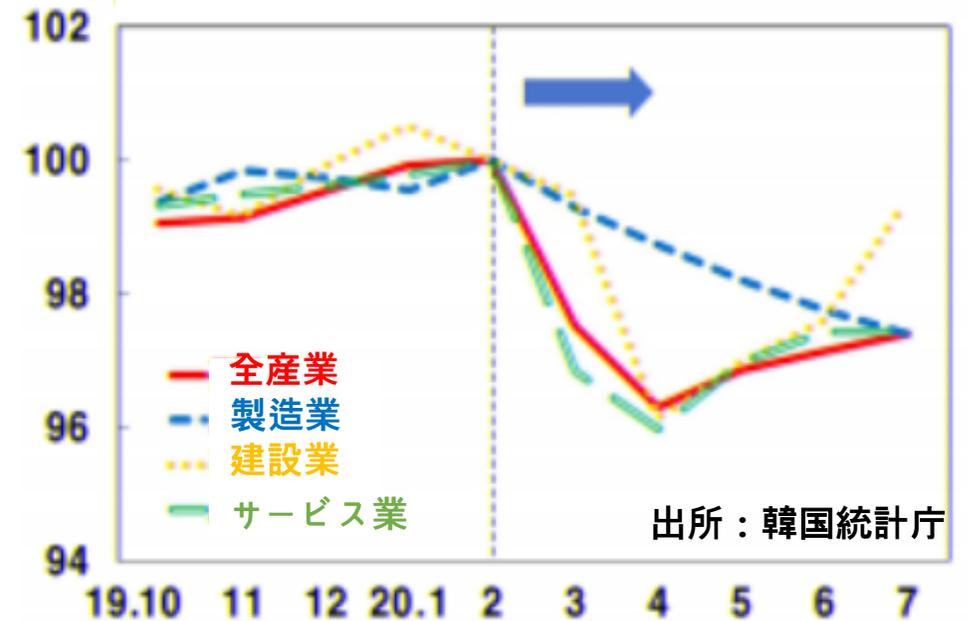
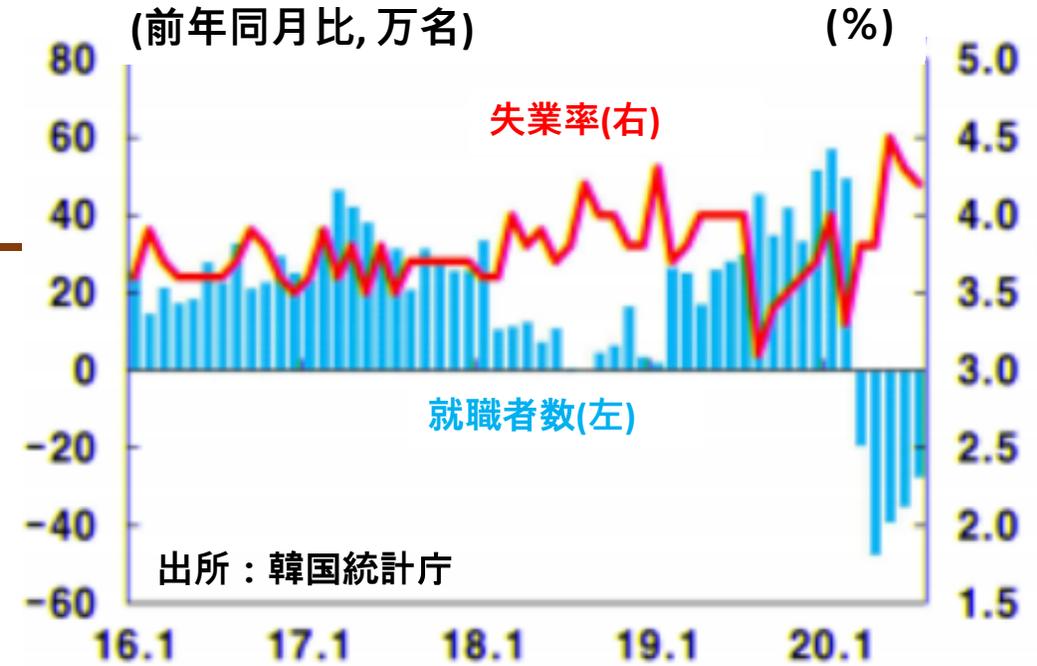
出所：韓国銀行

2. 雇用

- 5月から就職者数減少傾向は縮小
 - 対面サービス業中心に減少したが、5月から新型コロナ拡散が収まり減少幅縮小
 - 輸出低下により製造業雇用は減少継続
 - 夏以降の新型コロナ再拡散により一部サービス業では雇用改善が遅れ

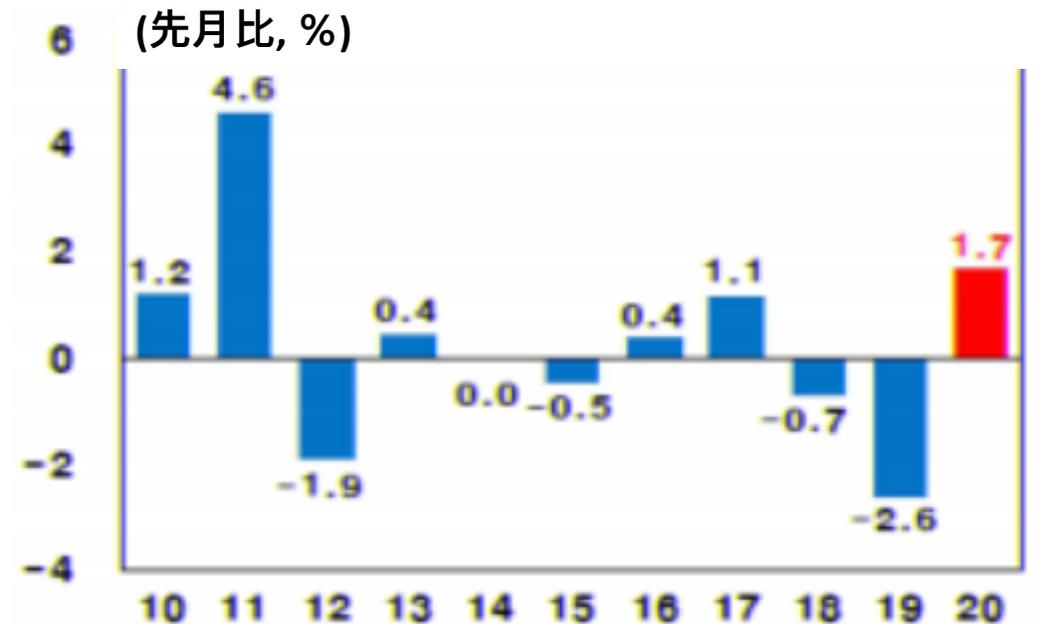
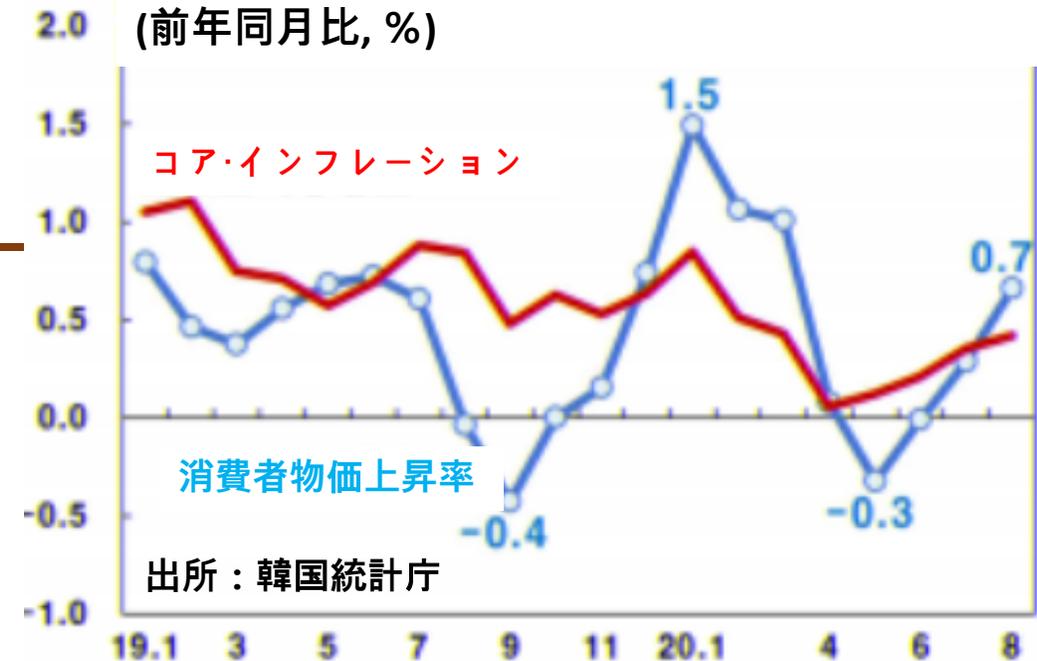
産業別就職者数推移 →

就職者数推移及び失業率



3. 物価

- 大幅低下されたが回復傾向
- 賃金上昇率は2019年水準を下回る
- 7～8月の集中降雨により農産物供給がうまくできず、物価上昇



年度別7月中農産物価格推移 →

4. まとめ

1. 経済成長

- ① 民間消費は第二四半期の新型コロナ拡散の低下により回復気味だったが、7～8月集中降雨及び再拡散により再び悪化
- ② 設備投資はIT半導体部門を除き低下傾向
- ③ 建設投資は以前からも低下傾向だったのが新型コロナ流行により、さらに悪化。今後も回復は鈍いと予想
- ④ 商品輸出はグローバル景気改善により回復傾向に転じたが、夏以降の新型コロナ再拡散により再び低落
- ⑤ 成長率は不確実性が高い状況が続く

4. まとめ

2. 雇用

全体的に雇用率は低下する一方であり、徐々に回復するとも予測されるが、不確実性が高い現在の状況では油断できない

3. 物価

大幅に低下したが5月以降回復傾向

7～8月の集中降雨により農産物価格は上昇傾向

ご清聴ありがとうございました。